

あけまして

おめでとう

ございます

前回の提出メールで寄せられた苦情

- 話が長い
- 時間通りに終わらせる

ごめんなさい、でも…

- 本授業は純然たる実習科目ではない
- 一般の講義科目と同様に、
半期1コマ2単位の科目
- それを念頭に講義部分を提供している

→ 話の部分が多いのは御容赦を

前回の提出メールで寄せられた苦情

- 話が長い
- 時間通りに終わらせる

ごめんなさい、でも…

- 本授業は純然たる実習科目ではない
- 一般の講義科目と同様に、
半期1コマ2単位の科目
- それを念頭に講義部分を提供している

→ 話の部分が多いのは御容赦を

前回の提出メールで寄せられた苦情

- 話が長い
- 時間通りに終わらせる

ごめんなさい、でも…

- 本授業は純然たる実習科目ではない
- 一般の講義科目と同様に、
半期1コマ2単位の科目
- それを念頭に講義部分を提供している

→ 話の部分が多いのは御容赦を

今後の本授業の予定: テーマは情報の発信

- 1/5(今回):HTMLによる web page 作成 (1)
- 1/12(月): 「成人の日」でお休み
- 1/15(木・見做し月曜日):
HTML による web page 作成 (2)
- 1/19(月): プレゼンテーション大会 (1)
- 1/26(月): プレゼンテーション大会 (2)

プレゼンテーション大会

2 回に亙って**全員**に

プレゼンテーションソフトを用いた発表
をしてもらいます

- 内容: 何かを**勧める**
- 持ち時間: 1 分
- 資料枚数: 表紙 + 2~3 枚程度か
- プレゼンテーション資料の事前提出:
1/15(木)まで(当日可)
にメール添付で提出

プレゼンテーション大会

プレゼンテーション資料の事前提出要領:

- **1/15(木)**まで(当日可)にメール添付で提出
- **スライドショー形式 (.pps)**で提出
- 添付ファイル名は学生番号 (a0nxxyyy.pps)
- メール本文に学生番号・氏名・題目を記載
(1行ずつ改行して行頭から)

ID:A0nxxyyy

Name:何野某

Title:何とかのお勧め

今回・次回は

ウェブサイト作成

**HTML 文書を作る
(HyperText Markup Language)**

実習:

本授業のウェブサイト

```
http://pweb.cc.sophia.ac.jp  
/tsunogai/kougi/08/jolite.html
```

に用意したサンプルHTMLファイル

```
sample.html
```

をダウンロード

[右クリック] → [対象をファイルに保存]

→ 0: ドライブの授業用フォルダに保存
(ファイル名を [index.html](#) に変更のこと)

授業実習では、

学内のみに公開されたウェブサーバ

`lctweb.cc.sophia.ac.jp`

を使う

各人の **URL** は

`http://lctweb.cc.sophia.ac.jp/~A0nxxyyy/`

以下になる

(一般に大文字小文字を区別するので注意)

実習 1:

以下の 2 箇所を自分の ID・名前に直してから、
ウェブブラウザで表示を確認してみよう

```
<base href=" ~ /~A0nxxyyy/index.html">
```

```
<h1>何野某の授業実習用ウェブページ</h1>
```

→ ブラウザで [ファイル] [ファイルを開く]

実習 1: 授業実習用ウェブサーバに ファイルをアップロード

とりあえず授業実習用サーバに
掲載 (アップロード) してみよう

授業実習用ホームページ (lctweb) サービス

学内のサーバに接続・ファイル転送

→ **FFFTP** を用いる

(FTP = File Transfer Protocol)

FFFTP の使い方

- **起動:** [スタート] → [プログラム]
→ [Tools] → [ファイル転送]
- **終了:** [接続 (F)] → [終了 (X)]
([Alt + f] → [Alt+x])
または [ウィンドウ右上の ×]

FFFTP の使い方

- **接続:** [接続 (F)] → [接続 (C)]
→ [ホスト一覧] でどれかを選ぶ
→ [接続 (S)]
→ ユーザ名 (学生番号) を入力 → [OK]
→ パスワードを入力 → [OK]
→ 接続完了
 - ★ 左側: ローカル (こっち側)
 - ★ 右側: リモート (向こう側)
- **切断:** [接続 (F)] → [切断 (R)]

接続を切断してから終了すること

(学内) 公開用ディレクトリの作成

(ディレクトリ: フォルダに相当)

準備として最初の1回だけ

- [コマンド (C)] → [フォルダ作成 (K)] →
[フォルダ作成 (ホスト)] でフォルダ名入力
`public_html` (半角英小文字 + 記号)
(大文字小文字は区別される)
- 属性確認 (変更)
今作った `public_html` をクリックで選択
→ [コマンド (C)] → [属性変更 (A)]
[現在の属性] が **755** なら **OK**

ファイルのアップロード

ローカル (こっち側) → リモート (向こう側)

- リモート側 (右側) のディレクトリ指定:
public_html に ([ダブルクリック] で移動)
- ローカル側 (左側) のフォルダ指定:
0:¥ → 授業用フォルダ
- ローカル側 (左側) の index.html を選択
→ [アップロード] (上向き青矢印)
または マウスでドラッグ

アップロードしたファイルを試してみる

`http://lctweb.cc.sophia.ac.jp/~A0nxxyyy/`

ファイル名を指定しないと `index.html` と仮定
(ウェブサーバの設定)

ソースを確認してみよう

- IE: [右クリック] → [ソースの表示]
- Firefox:
[右クリック] → [View Page Source]
(または [Ctrl+u])

アップロードしたファイルを試してみる

`http://lctweb.cc.sophia.ac.jp/~A0nxxyyy/`

ファイル名を指定しないと `index.html` と仮定
(ウェブサーバの設定)

ソースを確認してみよう

- **IE:** [右クリック] → [ソースの表示]
- **Firefox:**
[右クリック] → [**View Page Source**]
(または [**Ctrl+u**])

今掲載した `index.html` では、
文字の大きさなどは特に指定していないが、
見出しの文字は大きめに表示されている。

- 元々のテキストデータが内容としてある
- HTML では専ら論理指定を行なう
- ブラウザが解釈して適切に表示する

今掲載した index.html では、
文字の大きさなどは特に指定していないが、
見出しの文字は大きめに表示されている。

- 元々のテキストデータが**内容**としてある
- HTML では専ら**論理指定**を行なう
- ブラウザが解釈して適切に**表示**する

ブラウザが解釈して適切に表示する
ということはどういうことか

使っているウェブブラウザや環境によって
見え方が異なる

→ 過度に見た目に拘らないこと

参考: テキストベースブラウザ (w3m など)

ブラウザが解釈して適切に表示する
ということはどういうことか

使っているウェブブラウザや環境によって
見え方が異なる

→ 過度に見た目に拘らないこと

参考: テキストベースブラウザ (w3m など)

ブラウザが解釈して適切に表示する
ということはどういうことか

使っているウェブブラウザや環境によって
見え方が異なる

→ 過度に見た目に拘らないこと

参考: テキストベースブラウザ (w3m など)

ブラウザが解釈して適切に表示する
ということはどういうことか

使っているウェブブラウザや環境によって
見え方が異なる

→ 過度に見た目に拘らないこと

参考: テキストベースブラウザ (w3m など)

HTML 文法の基礎の基礎

- テキストを **mark up** して論理指定する
→ 内容と論理指定とが共に
 プレーンテキストで交ぜ書きされる
- **mark up** は HTML の **タグ** によって行なう
 - ★ タグは `< >` で囲まれる
 - ★ `<xxx>` から `</xxx>` までが指定 xxx の範囲
(対応する `</xxx>` が無いものもある)
 - ★ 様々な属性を持つタグがある
(`<xxx yyy="zzz">` の形で指定)

HTML 文法の基礎: 構成

- `<html>` ~ `</html>`:
この間が **HTML** で書かれていることを示す
- `<head>` ~ `</head>`: ヘッダ部分
文書に関する情報を記述する
- `<body>` ~ `</body>`: 本体部分
文書の内容を記述する

HTML 文法の基礎: 段落・見出し

- `<h > ~ </h >`: 見出し (headings)
 - ★ レベル = 1 ~ 6 まで
 - ★ 上のレベルから順に用いるのが原則
 - ★ 通常、然るべき大きさ・配置で表示

- `<p> ~ </p>`: 段落 (paragraph)
 - ★ 地の文は普通この中に書くことになる
 - ★ 通常、段落内は画面端で折返し表示
 - ★ 通常、段落毎に改行、少々空けて表示

HTML 文法の基礎: 箇条書

- `` ~ ``
: 番号付き箇条書 (ordered list)
 - `` ~ ``
: 番号なし箇条書 (unordered list)
- ★ 各項目は `` ~ `` で囲む
- ★ 入れ子にも出来る
(項目内に更に
`` ~ ``・`` ~ ``
が書ける)

HTML 文法の基礎: ハイパーリンク

- `<a>` ~ ``: アンカ (anchor・碇)
 - ★ リンク先は `href` 属性で指定
(Hypertext REFerence)
従って次の形になる
``
 - ★ **URL** の指定には絶対指定・相対指定がある
 - * 絶対指定: ことと無関係に指定
`http://` などから始まる
 - * 相対指定: ここからの位置関係で指定
`./` や `../` などから始まる

実習 2:

ハイパーリンクの並んでいる段落を

箇条書に変えて、

各リンクをそれぞれ一つの項目としよう。

また、各リンクの飛び先が正しいか確かめよう。

(まだサーバへはアップロードしない)

実習 3:

ウェブページ (HTML 文書) をもう一つ
適当な名前で作って、
(コピーして修正すれば良い)

index.html からそのページに向けた
リンクを張ろう (相対指定が適当)。

また、そのページには、
index.html に戻ってくるための
リンクを作ろう。

出来たらサーバにアップロードして
リンクが辿れるか確認しよう。

本日の実習課題の確認は、

みなさんの URL

`http://lctweb.cc.sophia.ac.jp/~A0nxxyyy/`

でのアクセスを確認することで行なうので、

メール等で提出する必要は**ない**

情報発信:

プレゼンテーション資料作成
“MS-PowerPoint” を使う

ウェブサイト作成
HTML 文書を作る

共通の補足

情報発信に於いては、

相手に伝わること

が (当たり前だが) 大切

どんな人にもきちんと伝わるようにすること

ユニバーサルデザイン (Universal Design)

ユニバーサルデザイン (Universal Design)

“バリアフリー” の考え方から発展

どんな人にもきちんと伝わるようにすること

文字情報・視覚情報の発信に於いて、
特に留意すべきことは？

ユニバーサルデザイン (Universal Design)

“バリアフリー” の考え方から発展

どんな人にもきちんと伝わるようにすること

文字情報・視覚情報の発信に於いて、
特に留意すべきことは？

参考: 色のユニバーサルデザイン

**NPO 法人 カラーユニバーサルデザイン機構
(Color Universal Design Organization)**

<http://www.cudo.jp>

どんな人にもきちんと伝わるようにすることが、

結局はどんな人にも判り易い表現に繋がる

参考: 色のユニバーサルデザイン

**NPO 法人 カラーユニバーサルデザイン機構
(Color Universal Design Organization)**

<http://www.cudo.jp>

どんな人にもきちんと伝わるようにすることが、

結局はどんな人にも判り易い表現に繋がる

今後の本授業の予定: テーマは情報の発信

- 1/5(今回):HTMLによる web page 作成 (1)
- 1/12(月): 「成人の日」でお休み
- 1/15(木・見做し月曜日):
HTML による web page 作成 (2)
- 1/19(月): プレゼンテーション大会 (1)
- 1/26(月): プレゼンテーション大会 (2)